

KENWOOD

デュアルサイズMD/CDレシーバー

DPX-5021M

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional

Operation

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ

Operation

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

Functional
Operation

Source Selection/Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

EZ
Operation

Options

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

MDLP

Help ? Operation Help
? Word

© B64-1939-00 (JW)

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

CDとMDの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

MD、CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた ...12

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? Word

Help? Operation36

Help? Word42

付録

Appendices

取り付け時のご注意44

接続46

取り付け48

保証とアフターサービス50

仕様一覧51

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection14
ソース選択

Clock Control15
時刻合わせ

Disc Mode16
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
トラックリピートプレイ
ランダムプレイ
トラックスキッププレイ
タイトルスクロール

Tuner Mode18
バンド切り替え
チューニング
オートメモリー
マニュアルメモリー
プリセットチューニング

Name Set Mode20
DNPS (ディスクネームプリセット) /
SNPS (ステーションネームプリセット)

Display Control22
文字表示切り替え
メインスペアナ切り替え
サブスペアナ切り替え

DSP Control24
DSPシステム
サウンドフィールドの選択

Equalizer Control25
イコライザーイージーの調節
イコライザープロの調節

Audio Control28
オーディオコントロール

Function Set Mode30
ファンクションセット
セキュリティコード

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

External Disc Control34

ディスクサーチ
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
トラックリピートプレイ
ディスクリピートプレイ
トラックスキッププレイ
ランダムプレイ
マガジンランダムプレイ
タイトル/テキストスクロール

Source Selection/Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

EZ Operation

Options

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

? Operation

? Word

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

ディスクの操作
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押し操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

Functional Operation

この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

Functional Operation

ソース選択
プレイするソースを切り替えます。

C SRC

押すたびに次の順で切り替わります。

TUNER FM/AM放送を受信

MD MDをプレイ

CD CDをプレイ

ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

表示される文字または内容

時刻合わせ
時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます

D AM12:00

2 時刻合わせを開始します

D 1秒 AM12:00

ⓐ表示が点滅するまで押し続けます。

Source Selection/Clock Control

EZ Operation

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Source Selection/Clock Control

Disc Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

Options

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

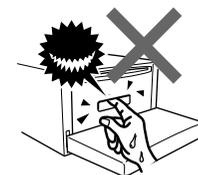
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。

使用上のご注意

本機に接続する

ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30またはRJ-480が接続可能です。これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。また、CDテキスト表示は上記CDチェンジャーのみで行えます。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機のDNPS機能は本機内部の記憶機能に10枚まで記憶することができます。また、CDチェンジャーに内蔵の記憶機能についてはCDチェンジャーにより異なりますので、CDチェンジャーに付属の取扱説明書を参照してください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧ください。なるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

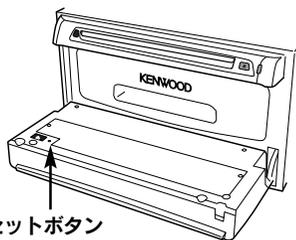
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp (p.36)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX”と表示される。
- KCA-S210A/CA-C1AXが接続されていないときに“AUX”と表示される。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

車両のラジオアンテナが自動で伸びるオートアンテナ付き車に取り付けた場合、本機のチューナーモードまたは交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、チューナーモード以外のソースに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

演奏時間表示について

MDの演奏時間が100分をこえた場合、下2桁までの演奏時間が表示されます。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因となります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

ディスクマークの付いていないCDは使用しないでください。

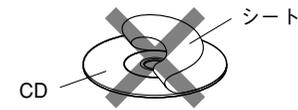
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールのはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

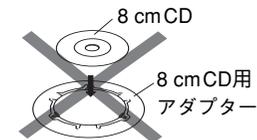
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

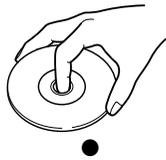
このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

CDとMDの取り扱い

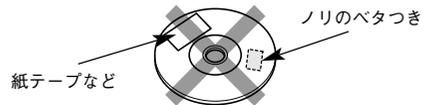
CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメ
ディアです。取り扱いには十分注意をしてくだ
さい。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパ
ッケージなどにも書かれています。それらの注意
事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙
テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやラベルCDのラベルな
どのノリがはみ出したり、はがした痕があるもの
はお使いにならないでください。そのままCD
プレーヤーにかけるとCDが取り出せなくな
ったり、故障することがあります。



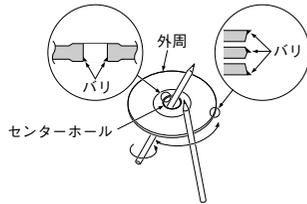
CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボ
ードの上)など、温度が高い場所には置か
ないでください。特にCD-R、CD-RWは
通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環
境に弱く、ディスクによっては車内に長
時間放置すると使用できなくなる場合が
あります。

長期間演奏しないときは、本機からCD
を取り出して、ケースに入れて保管して
ください。キズ、汚れ、反りの原因にな
りますので、ケースに入れずに重ねて
置いたり、斜めに立てかけて保存し
ないでください。

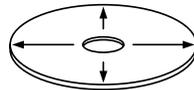
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンター
ホールや外周部に“バリ”がないことを
確認してください。“バリ”がついたま
ま使用すると、CDが挿入できなかつ
たり音飛びの原因になります。“バリ”
があるときは、ボールペンなどで取り
除いてから使用してください。



CDのお手入れ

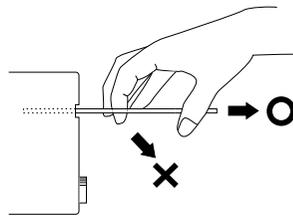
CDが汚れたときは、市販のクリーニング
クロスや柔らかい木綿の布などで、中
心から外側に向かって軽くふき取って
ください。従来のレコードクリーナー、
静電防止剤や、シンナーやベンジン
などの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向
に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD
の記録面に傷を付ける原因となりま
す。

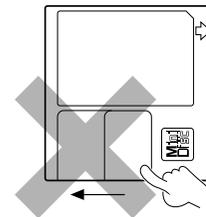


MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾
いた布でふき取ってから使用して
ください。特に油污が付いた状態
で使用すると、ディスクがロー
ディングされなかつたり、取り
出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、
MDのシャッターを開かないよ
うご注意ください。

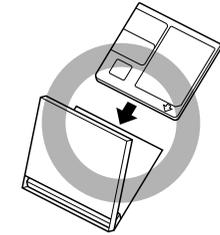
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないよ
うになっています。無理に開けると
カートリッジが破損して使用でき
なくなります。シャッターが何らか
の原因で開いてしまったときは、
記録部分を指で触らないように
してください。記録部分に触れる
と使用できなくなったり、音
飛びを頻繁に起こすようになります。



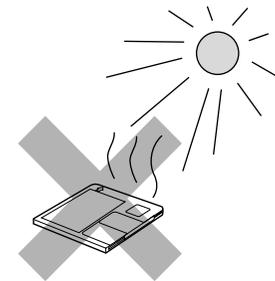
保管について

MDを長時間本機に入れたままに
しないでください。また、取り
出したMDは、MD専用ケースに
入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所(ダ
ッシュボードの上)など温度が高
くなるような場所に放置しな
いでください。MDのカートリ
ッジが変形して使用できなくな
ります。



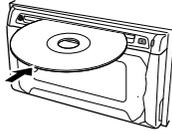
ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。

プレイする曲を選びます。
 押すたびに、次の曲または現在演奏中の曲の先頭前の曲になります。
 押し続けると、早送り/早戻しができます。

受信する放送局を選びます。
 AUTO1インジケータが点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
 AUTO2インジケータが点灯時はメモリーしている放送局を順に受信します。
 AUTOインジケータが消えているときは周波数を1ステップずつ変えられます。
 (ファンクションセット30ページ)

交通情報の周波数 (1620KHz / 1629KHz / 522KHz) を切り替えます。

CDをプレイするときは…
 プレイするディスクを差し込みます。



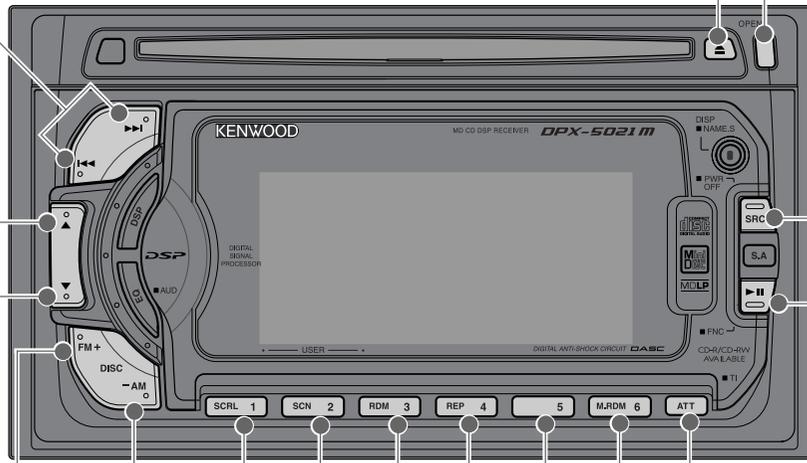
CDを取り出すときは…
 を押します。
 CDがイジェクトされます。

MDをプレイするときは…
 を押し、操作パネルを開きプレイするMDを差し込みます。
 MDが引き込まれてから手でパネルを閉じます。

MDを取り出すときは…
 を押し、操作パネルを開きます。
 開いた操作パネルの裏の  を押し、MDがイジェクトされます。手でパネルを閉めます。

MDイジェクトボタン

● “MDLP” フォーマットで録音したMDもプレイすることができます。
 録音形式が “LP 2” の場合は  インジケータが点灯し、“LP 4” の場合は  インジケータが点灯します。



音量を上げます。

音量を下げます。

FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。

AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。

メモリーされている放送局を選びます。
 2秒以上押し、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

電源をオン/オフします。
 を押し電源がオンになります。
 1秒以上押し、電源がオフになります。

MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
 ディスクが入っているときに押し、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFに切り替わります。
 MDが入っているときは  インジケータが点灯し、CDが入っているときは  インジケータが点灯します。(ソース選択14ページ)

演奏を一時停止します。
 もう一度押しとプレイします。

音量を素早く下げます。
 もう一度押しと元の音量に戻ります。
 アッテネーターが入っているときは、ATTインジケータが点灯します。

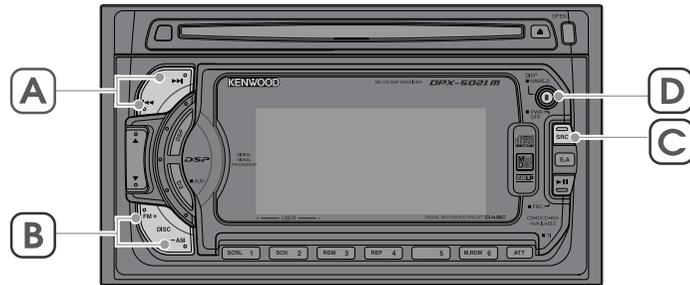
● 音量を上げる ( ボタンを押し) とアッテネーターが解除されます。

1秒以上押しと、交通情報を受信します。
 もう一度、1秒以上押しと元に戻ります。

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。
- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。
- 全ての操作は、電源をオンにした状態で行ってください。

- Source Selection/Clock Control
- Disc Mode
- Tuner Mode
- Name Set Mode
- Display Control
- DSP Control/Equalizer Control
- Audio Control
- Function Set Mode



プレイするソースを選びます。
また、時計表示の時刻を合わせます。

ソース選択

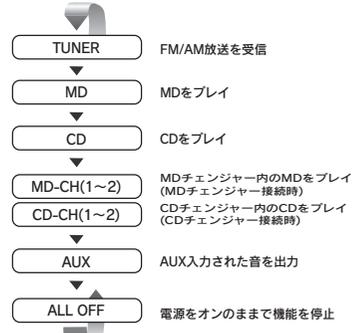
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- “O-N” スイッチがついていないディスクチェンジャーを使用した場合、“DISC-CH” と表示されます。また、“O-N” スイッチがついているディスクチェンジャーを使用する場合は、“N” 側でご使用ください。
- 別売品のCA-C1AXを接続した場合は、“DISC-CH” を選択してください。その後、“AUX” に切り替わります。

時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 時計表示を選びます



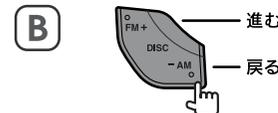
⚠ 時計表示のしかたは、文字表示切り替え (22ページ) を参照してください。

2 時刻合わせを開始します

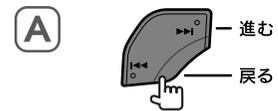


⌚表示が点滅するまで押し続けます。

3 “時” を合わせます



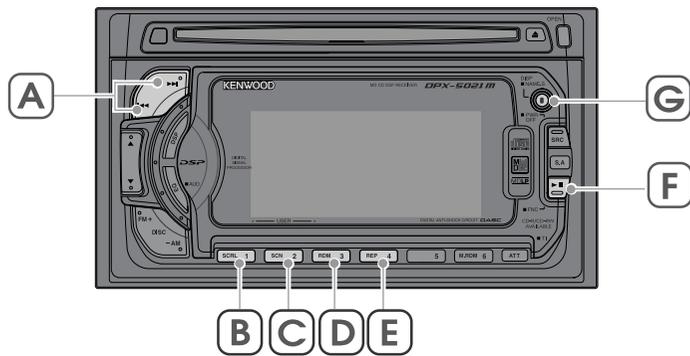
4 “分” を合わせます



5 時刻合わせを終了します

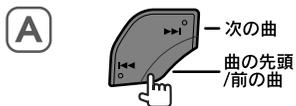


時刻を調節したときは、00秒からカウントがスタートします。



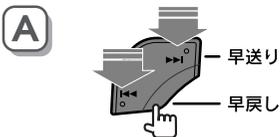
トラックサーチ

順に曲を選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、REP インジケータが点灯します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はRDM インジケータが点灯します。

! トラックサーチボタンを押すと、次の曲をランダムに選択します。

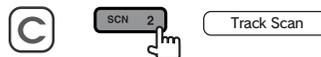
MDやCDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDとCDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャンプレイ中はSCN インジケータが点灯し、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところまで...



その曲からプレイされます。
! を押してもプレイされます。

! すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

タイトルスクロール

MDをプレイしているときにディスク/トラックタイトルをスクロール表示します。

1 ディスクタイトル/トラックタイトル表示にします

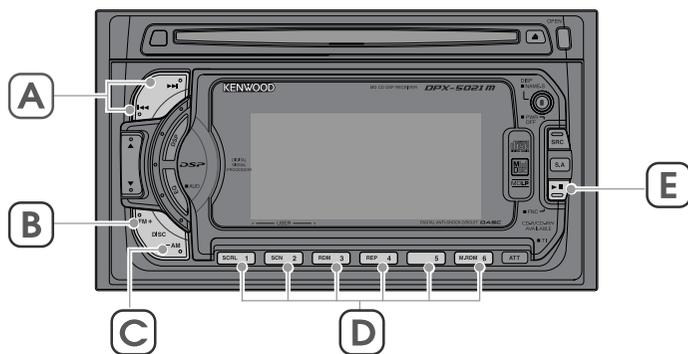


2 スクロール表示します



ディスクタイトル/トラックタイトル表示が1回スクロールします。

! ファンクションセット (30ページ) の“AT.SCRL”項目が“Off”に設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードがオート1のとき (AUTO I インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート2のとき (AUTO II インジケータが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は次のページを参照してください)

チューニングモードがマニュアルのとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードはファンクションセット (30ページ) の“Seek”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信すると (ST) インジケータが点灯します。
- FMステレオ放送の受信状態が悪く聞き辛い場合はファンクションセット (30ページ) の“MONO”項目でモノラル音声に切り替えることで聞き易くなる場合があります。また、モノラル音声に切り替えると (MC) インジケータが点灯します。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします

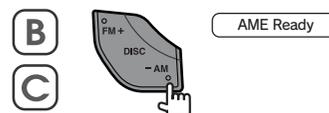


“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

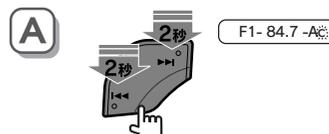
FM/AM放送を受信します。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

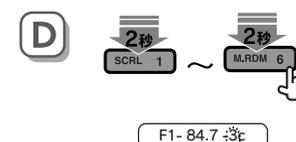
1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

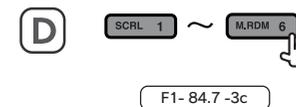
プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。



FM/AM放送や本機内のCDまたは別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。

DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)

CDやFM/AM放送局に名前を付けます。FM/AM放送局には30局までステーションネームをセットできます。また、本機CDプレーヤーには10枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

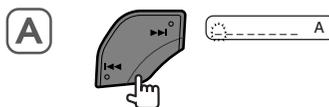
- 時計表示中やトラックスキャンプレイ中はDNPS/SNPSは行えません。時計表示やトラックスキャンプレイ以外を選択しておいてください。
- MDまたはAUXにDNPS/SNPSは行えません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 ネームセットモードにします



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

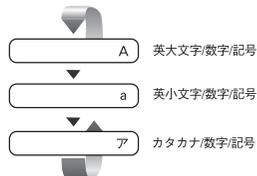
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます

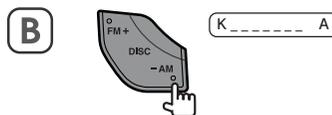


押すたびに次の順で切り替わります。



- カタカナの小文字はカタカナの大文字のあとに表示されます。

5 文字を選びます

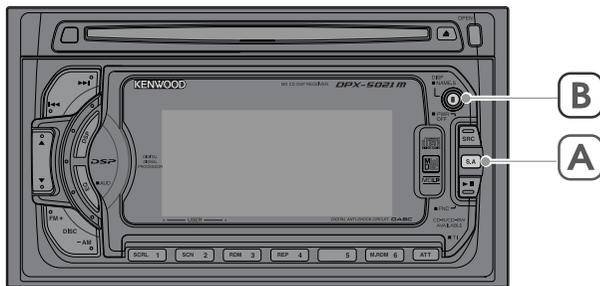


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

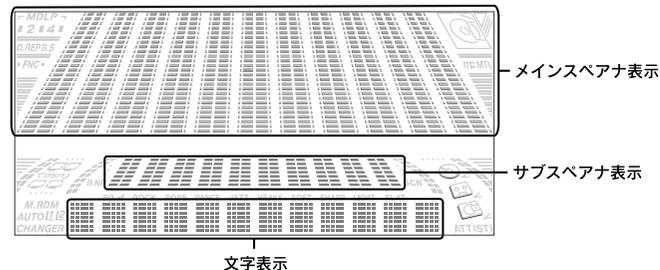
7 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すと本機内蔵CDのDNPSとSNPSは消去されます。
- ディスクネームをセットできるCDの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。くわしくはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機とCDチェンジャーはそれぞれのメモリーで名前を記憶しています。このため本機内部のCDプレーヤーで名前を付けたCDをCDチェンジャーでプレイしてもDNPSは表示されません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2~6の操作により変更できます。



ディスプレイに表示される情報を切り替えます。
また、アナライザー表示を選択します。

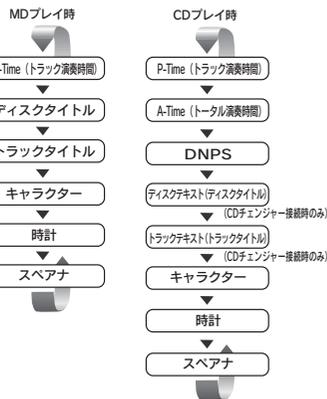
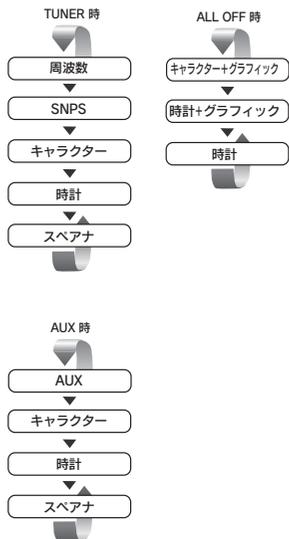


文字表示切り替え

文字表示部に表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



MDの演奏時間が100分をこえた場合、下2桁までの表示がされます。

メインスペアナ切り替え

メインスペアナ表示を切り替えます。

1 スペアナコントロールモードにします



メインスペアナ切り替えはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 アナライザーを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 スペアナコントロールモードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

サブスペアナ切り替え

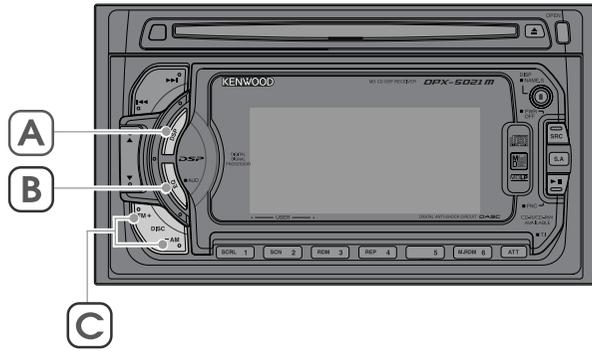
サブスペアナ表示を切り替えます。



1秒以上押すたびにサブスペアナ表示が次の順で切り替わります。切り替わったサブスペアナの項目が表示されます。



サブスペアナ切り替えはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。



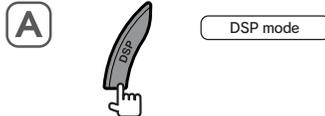
DSP (デジタルシグナルプロセッサ) の選択ができます。
また、イコライザーモードには“EASY”と“PRO”の2つのモードがあります。

“EASY”モードは、プリセットされたイコライザーカーブから選択し音質効果の強弱を選ぶことができます。
“PRO”モードは、プリセットされたイコライザーカーブを選択する他に各設定項目を調整できます。

DSPシステム

DSP機能を使います。

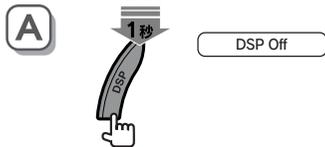
DSPシステムをオンにします



DSP効果のかかった音が出力されます。
DSPシステムがオンのときには (DSP) インジケータが点灯します。

- DSPの設定はALL OFFモードや交通情報以外のモード中に設定できます。
- バランス/フェーダーを中央位置以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムのオン中は、バランス/フェーダーを中央位置にして使用してください。
- DSPシステムの初期設定はオンになっております。

DSPシステムをオフにします



“DSP Off”と表示されるまで押し続けるか、または (DSP) インジケータが消えるまで押し続けます。
DSP効果が解除されます。

サウンドフィールドの選択

DSPのサウンドフィールド (疑似音場効果) を呼び出します。



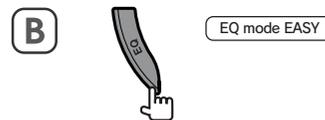
- Stadium スタジアム
- Concert コンサート
- Club Disco クラブディスコ
- Church 教会
- Listening リスニング
- Bypass バイパス

10秒間以上、なにも操作しないでおくとサウンドフィールドの選択を終了します。

イコライザーイージーの調節

ファンクションセット(30ページ)の“EQ mode”項目が“EASY”に設定されている場合に行えます。

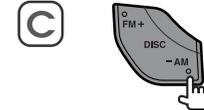
1 イコライザーイージーモードにします



2 イコライザーカーブを選択します

-
- Rock ロック
 - Pops ポップス
 - Dance ダンス
 - Jazz ジャズ
 - Heavy ヘビィ
 - Soft ソフト
 - Sharp シャープ
 - Light ライト
 - Flat フラット

3 イコライザーの音質効果を調節します

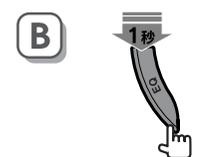


押すたびに次の順で切り替わります。
“****”はイコライザーカーブの“Rock”～“Light”が表示されます。

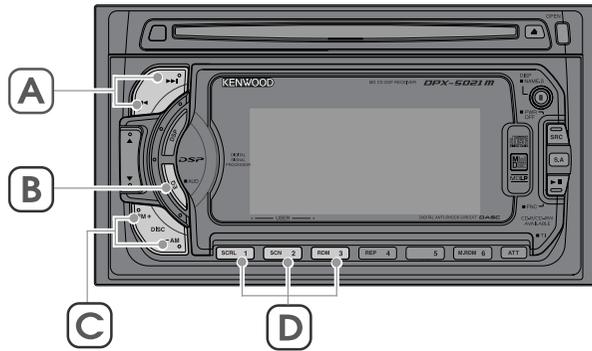
- **** High EQ効果大
- **** Mid (初期設定)
- **** Low EQ効果小

イコライザーカーブが“Flat”の場合、音質効果の調節できません。

4 イコライザーイージーの調節を終了します



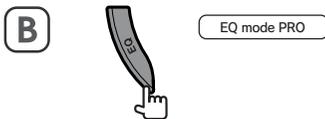
1秒以上押し続けるとうイコライザーイージーの調節が終了します。
または、10秒間以上何も操作しないでおきます。



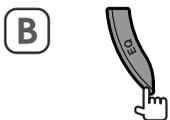
イコライザープロの調節

ファンクションセット(30ページ)の“EQ mode”項目が“PRO”に設定されている場合に行えます。

1 イコライザープロモードにします

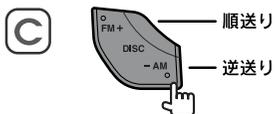


2 イコライザーカーブを選択します

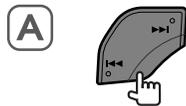


イコライザーイージーの調節(25ページ)の手順2を参照してイコライザーカーブを選択します。

3 音質効果の設定項目を選択します



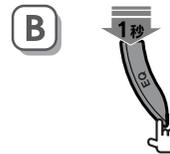
4 音質効果の値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass Frq. (低音中心周波数)	60/70/80/100 または150(Hz)
Bass LV (低音レベル)	-12~+12
Bass Q (低音クオリティファクター)	1.0/1.25/1.5/2.0
Bass EXT (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
Mid Frq. (中低音中心周波数)	0.5/1.0/1.5 /2.0(kHz)
Mid LV (中低音レベル)	-12~+12
Mid Q (中低音クオリティファクター)	1.0/2.0
Tre Frq. (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0 /17.5(kHz)
Tre LV (高音レベル)	-12~+12

5 イコライザープロの調節を終了します

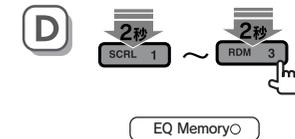


1秒以上押し続けるとイコライザープロの調節が終了します。または、10秒間以上何も操作しないでおきます。

- 設定項目の詳しい説明はHelp Word(42ページ)を参照してください。
- 手順3~4で設定した値は、右の方法でメモリーしたり、呼び出すことができます。各設定項目を調整すると、“User”と表示されます。
- Bass Q(低音クオリティファクター)の設定値により、Bass Frq.(低音中心周波数)の設定可能な周波数が以下のように変わります。

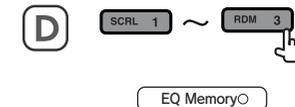
Bass Q 設定値	Bass Frq. 設定可能値
1.0/1.25/1.5	60/70/80/100(Hz)
2.0	60/70/80/150(Hz)

イコライザープロをメモリーするときは

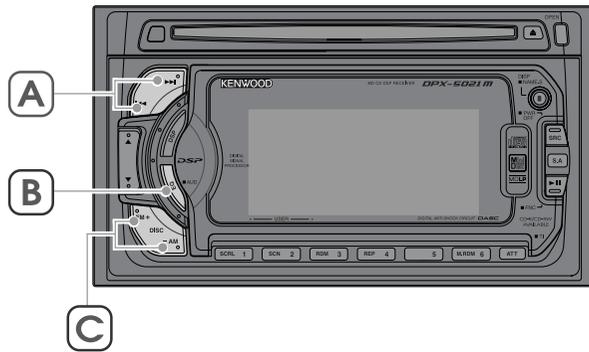


手順4のあとに、“EQ memory ○”表示がされるまで押し続けます。

イコライザープロを呼び出すときは



手順1のあとに押すと、メモリーされているイコライザープロの音質効果が呼び出されます。

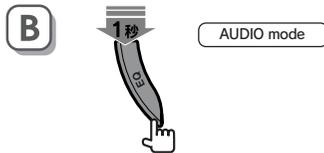


音量バランス等の調整をします。

オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

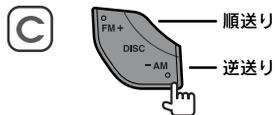
1 オーディオコントロールをオンにします



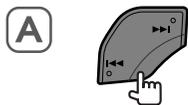
“AUDIO mode” と表示されるまで押し続けます。

オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



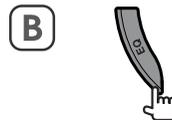
設定できる項目と値は次のとおりです。

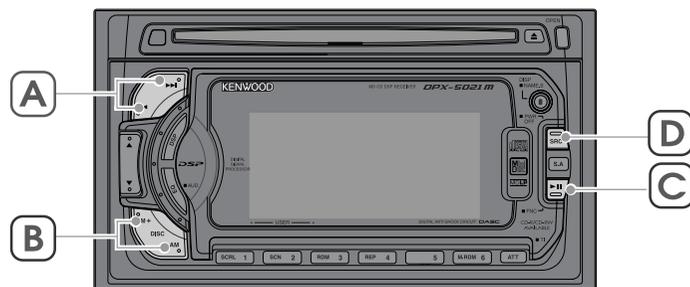
設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~00~R15 [左] [右]
Fader (前後の音量レベル)	R15~00~F15 [後] [前]
NON FAD (ノンフェーダー プリアウト出力レベル)	On/Off
Amp CTRL(外部 アンプコントロール)	Off /1/2

(太字は初期設定値)

- 設定項目の詳しい説明はHelp Word(42ページ)を参照してください。
- “NON FAD” 設定はファンクションセット (30ページ) の “Preout” 項目が “N-F” に設定されているときに選択できます。

4 オーディオコントロールをオフにします





本機の種類機能を設定します。

ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるソースモードにします

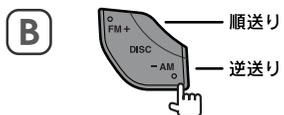


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

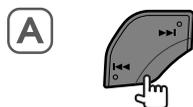
3 設定する項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

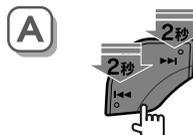
- 設定項目の詳しい機能説明はHelp Word(42ページ)を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は右ページのとおりです。“EQ mode”項目の設定は下記の方法で切り替わります。

“EQ mode”項目の切り替え方



2秒以上押すたびに、“EQ mode EASY”と“EQ mode PRO”が切り替わります。

ALL OFFモード中のみ

設定項目	設定値	条件
DIM STEP (車両のライトスイッチがオンときの表示輝度設定)	1 ~ 7 ~ 13	—
BEEP (ピープ音)	On / Off	—
Preout (プリアウト出力選択)	N-F / Front / Rear	—
Opening (電源オン時のデモンストレーション表示)	On / Off	—
EQ mode (イコライザーの調節)	EASY/ PRO	—
NAV. ATT (ナビ音声ガイド時にミュート設定)	On / Off	—
CODE STBY (セキュリティコードの登録モード)	登録の方法は32ページをご覧ください。	セキュリティコードが未設定時

(太字は初期設定値)

MD/CD-CH/MD-CHモード中のみ

設定項目	設定値	条件
AT.SCRL (タイトル/テキストアウトスクロール)	On / Off	チェンジャーのO-Nスイッチが‘N’に設定時

(太字は初期設定値)

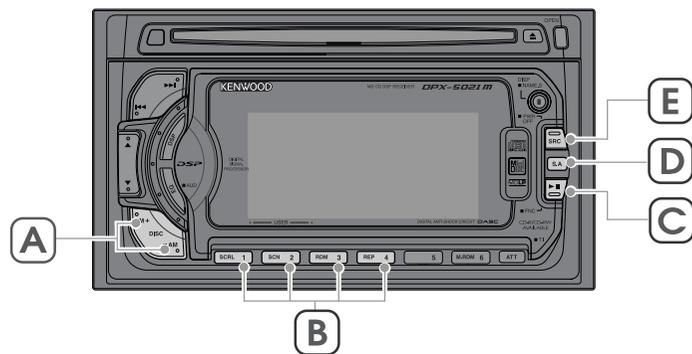
TUNERモード中のみ

設定項目	設定値	条件
Seek (チューニングモード)	Auto 1 / Auto 2 / Manual	—
MONO (モノラル受信)	On / Off	FM放送受信時
AME Ready (オートメモリー)	操作の方法は18ページをご覧ください。	—

(太字は初期設定値)

5 ファンクションセットモードを終了します





セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

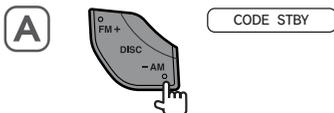


2 ファンクションセットモードにします

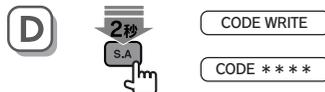


“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します



4 セキュリティコード入力を開始します



“CODE WRITE” と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	SCRL 1	SCN 2	RDM 3	REP 4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します



セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右項をご覧ください。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

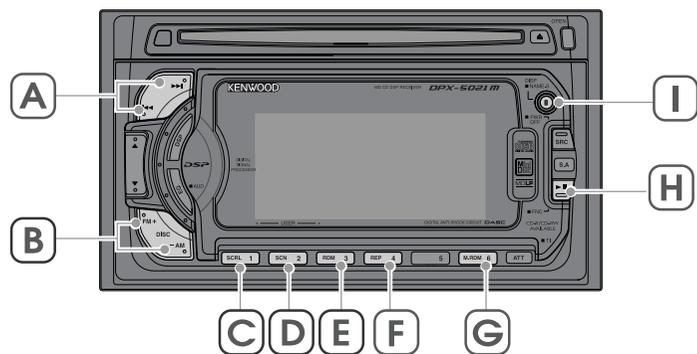


2 セキュリティコードを確認します

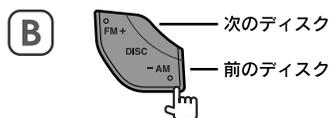


本機が使用可能となります。

セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び [S.A.] を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。



ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ) プレイするディスクを選択します。

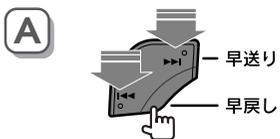


トラックサーチ 順に曲を選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ 現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックリピートプレイ 現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、REP インジケータが点灯します。

ディスクリピートプレイ (ディスクチェンジャーのみ) 現在のディスクを繰り返しプレイします。



“Disc Repeat” と表示されるまで押し続けます。1秒以上押すたびに、ディスクリピートプレイがオン/オフされます。ディスクリピートプレイがオンのときは、D.REP インジケータが点灯します。

別売品のディスクチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

トラックスキャンプレイ ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。



トラックスキャンプレイ中は SCN インジケータが点灯し、トラックナンバーが点滅します。



その曲からプレイされます。
⏮ を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

ランダムプレイ 現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中は RDM インジケータが点灯します。

⏮ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ) ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイがオンのときは M.RDM インジケータが点灯します。

⏮ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

タイトル/テキストスクロール タイトルやテキストをスクロール表示します。



タイトル/テキスト表示が1回スクロールします。

ファンクションセット (30ページ) の “AT.SCRL” 項目が “Off” に設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(46ページ) を見て正しく接続してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。(12ページ)
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(28ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルが開いている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- チューナーにDSP効果の強い設定(Churchなど)にしている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
- DSPシステムをオフにするか、効果の弱い設定にしてください。チューナーの受信状態によりひずんで聴こえる場合があります。(24ページ)

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(46ページ) を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

オーディオコントロールの“NON FAD”項目が表示されない

- ファンクションセットの“Preout”項目が“Front”または“Rear”に設定されている。
- ファンクションセットの“Preout”項目を“N-F”に設定してください。(30ページ)

電源がオフなのにディスプレイが赤く光る

- 車両のライトスイッチをオンにしている。
- イルミネーションコードが接続されていると、電源がオフのときでも、車両のライトスイッチをオンにするとディスプレイ部のライトが点灯します。

MD/CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもMD/CDに切り替わらない

- ディスクがセットされていない。
- プレイするディスクをセットしてください。

SRCボタンを押しても、MD-CH/CD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(46ページ) を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っている。
- 入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

- MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。
- 正しい方向で入れてください。

MDを挿入しても、イジェクトされる

- MDに何も録音されていない。
- 録音/記録されたMDを入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中에서도音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。
- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDとMDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。(10ページ)
- しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ランダムプレイがオンになっている。
- ランダムプレイをオフにしてください。(16/35ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- トラックリピートプレイがオンになっている。
- トラックリピートプレイをオフにしてください。(16/34ページ)

曲の先頭しかプレイされない

- トラックスキッププレイがオンになっている。
- トラックスキッププレイをオフにしてください。(17/35ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。(35ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。 → ランダムプレイをオフにしてください。(16/35ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。(35ページ)

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。 → CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。 → ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。 → スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。 → ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、トラックスキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。 → 各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。 → ● CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。 → ● CD-R/CD-RW対応のCDチェンジャーでプレイしてください。

トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。 → ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

タイトル表示に切り替えても “No Title/No Text” と表示される

ディスク/トラックタイトルやディスク/トラックテキストが記録されていない。 → ディスク/トラックタイトルやディスク/トラックテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

Display/DSP/Equalizer Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。
- 4スピーカーシステムで使用してください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(28ページ)

アナライザーの切り替えができない

ALL OFFモードになっている。 → SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからアナライザーの切り替えをしてください。

Function Control

ディマーが機能しない

イルミネーションコードが接続されていない。 → 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。

“AT.SCRL”項目が表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。
- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

“CODE STBY”項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。 → セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。 → ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Name Set

DNPSができない

- 接続したCDチェンジャーがDNPSに対応していない。
- MDをプレイしている。
- トラックスキャン/マガジンランダムがオンになっている。
- CDチェンジャーがDNPS機能に対応していないと使用できません。
- MDにDNPSはできません。
- トラックスキャン/マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS/DNPS表示にしても “No Name” と表示される

- SNPS/DNPSが登録されていない。
- SNPS/DNPSを登録してください。(20ページ)

登録したはずのステーションネーム (SNPS) が消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネーム (DNPS) が消えた

- 本機に11枚目のディスクネームを登録した。または、CDチェンジャーの登録枚数を超えた。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機に登録できるディスクネームは10枚分です。CDチェンジャーの登録枚数はCDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスクネーム (DNPS) がまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60°C以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Error 99** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを入れなおしてください。CDが取り出せない、またはCDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
-  (点滅) : ●演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→録音されたMDに入れ替えてください。
●MDプレーヤー部が正常に動作していない。
→MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

Amp CTRL

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。(B.M.S機能：Bass Management System)変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプ (2001年3月31日現在)

：KAC-PS501F、KAC-PS301T、KAC-PS201T

AT.SCRL

(オートスクロール)

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

Bass EXT

(バスエクステンテッド)

この機能をOnに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

Bass Frq/Mid Frq/Tre Frq

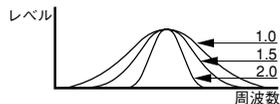
(バスフリクンシィ/ミドルフリクンシィ/トレブルフリクンシィ)

低音、中音および高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q/Mid Q

(バスクオリティーファクタ/ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ビッビッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

DIM STEP

(ディマーステップ)

車両のライトスイッチをオンにしたときの本機の表示部の明るさを設定しておくことができる機能です。

DSP : Digital Signal Processor

(デジタルシグナルプロセッサ)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

EQ mode

(イコライザーモード)

イコライザーモードには“EASY”と“PRO”の2つのモードがあり、使用したいモードを選択します。

“EASY”モードは、ジャンル別に設定されたイコライザーカーブ(ロック、ポップス、ダンスなど)の選択と効果の強弱を調節できます。

“PRO”モードは、イコライザーカーブを選択する他に各設定項目を調節することができます。

(調節のしかたは25ページ~27ページをご覧ください)

MDLP

(エムディエルピー)

MDの録音方式の規格です。

本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聴き易くなる場合があります。

NAV.ATT

(ナビアッテネーター)

本機にナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能をオンにしておく、現在聴いているソースの音量を一時的に小さくし、ナビゲーションの音声を聴きやすくするものです。

Opening

(オープニング)

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

Preout

(プリアウト)

別売品のアンプを接続するための出力です。

ノンフェーダープリアウトを、フロントプリアウトとリアプリアウトに切り替えることができます。ノンフェーダープリアウトはオーディオコントロールのフェーダー調整に影響されないでサブウーファース用の出力に活用できます。

Seek

(シーク)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C510など)、MDチェンジャー(KMD-C30など)です。

交通情報：TI

(トラフィックインフォメーション)

高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。MDやCDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

取り付け時のご注意

警告



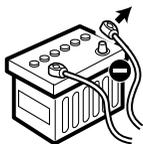
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



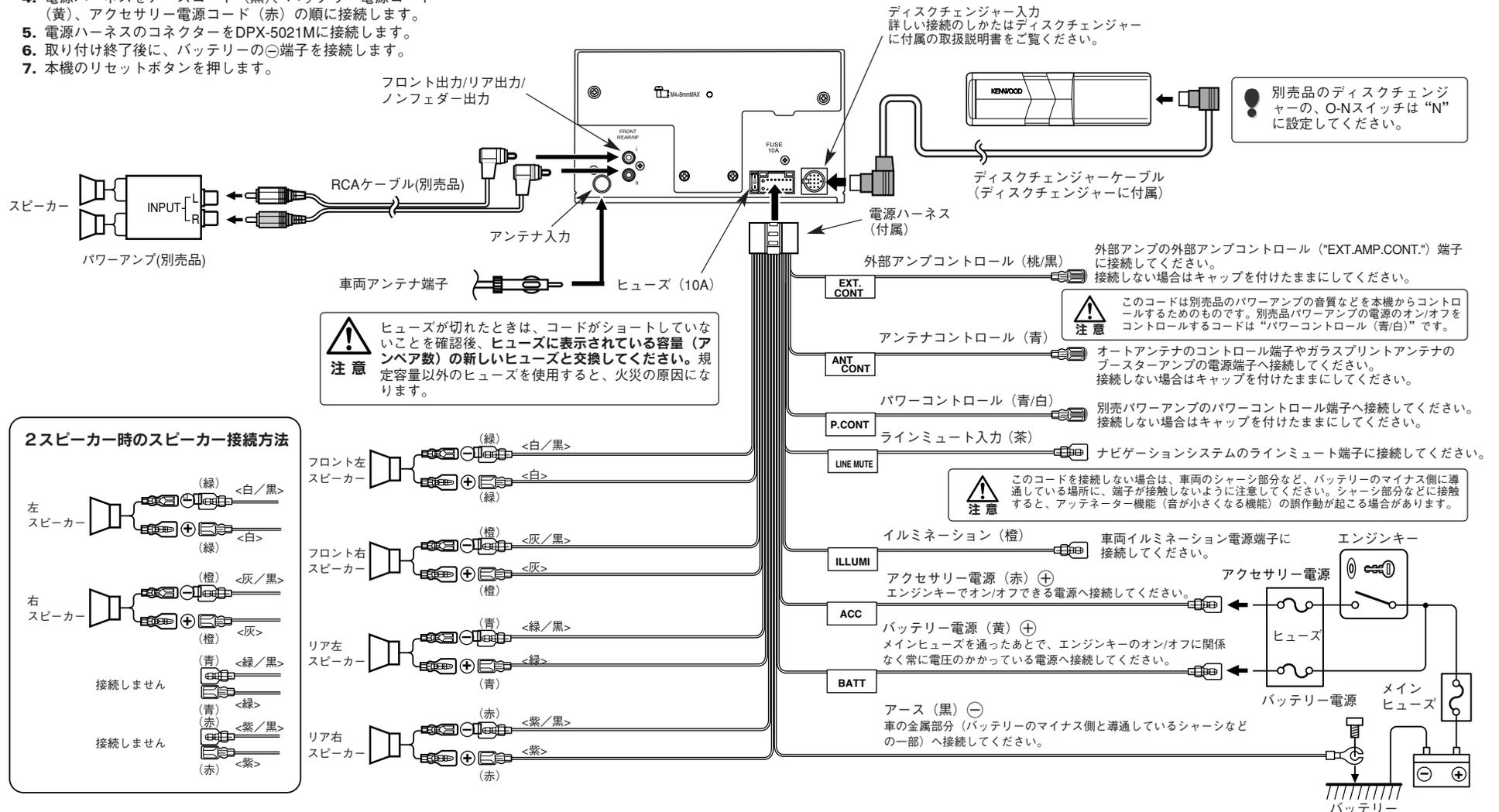
実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

- 実施**
1. エンジンキーを抜きます。
 2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
 3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
 4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
 5. 電源ハーネスのコネクターをDPX-5021Mに接続します。
 6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
 7. 本機のリセットボタンを押します。



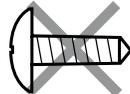
取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 6 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

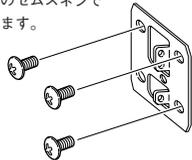


セムスネジ (M4 × 8mm)
(付属)

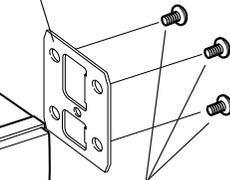
DPX-5021M

車両ブラケットなど

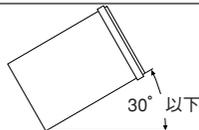
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
または
サラネジ (M5 × 7mm) (付属)



- 本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性（ \pm 3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比（dB）	75 dB (MONO)
選択度	80 dB以上（ \pm 400 kHz）
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs(λ =780 nm)
回転数	400～900 rpm（線速度一定）
ワウ/フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.005 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs(λ =780 nm)
デジタルフィルター（D/A）	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500～200 rpm（線速度一定）
ワウ/フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	47 W \times 4
定格出力	29 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル（FM）	1.5 V/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W \times H \times D）	178 \times 100 \times 155 mm
質量（重さ）	2.6 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 \times 6mm）	6本
サラネジ（M5 \times 7mm）	6本
セムスネジ（M4 \times 8mm）	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。